

◆激動と繁栄の昭和100年◆

戦前 昭和は金融恐慌で始まった。やがて昭和6年に満州事変が勃発、昭和11年の2・26事件を経て、次第に軍が政治の実権を握るようになった。昭和12年、中之条町祇園祭が中止になるなど町民生活に戦争の影響が強くなっていった。

戦中 昭和12年に始まった日中戦争は長期戦となっていく。そのため総力戦体制が強化され、国民生活は統制下におかれ、食料・衣料の配給制となった。昭和16年に始まった太平洋戦争は昭和20年の原子爆弾投下で日本は敗戦をむかえた。

戦後 昭和25年～28年の朝鮮戦争による特需ブームと、昭和35年の安保改定を背景にした高度経済成長によって、日本はアメリカについて世界第2位の地位を占めるようになった。昭和39年には東京五輪、昭和45年には大阪万博を開催し、文化面でも発展を遂げた。その後、平成3年頃に始まった株価や地価の暴落で日本経済が凋落する一方、日本独自の文化(日本食、アニメなど)が世界に広がりを見せている。

■鈴木ひでの絵手紙にみる「昭和の情景」 鈴木ひでが姉に宛てた7000枚の絵手紙などから



芝居の顔見せ(昭和10年代)



夏に伝染病が流行(昭和12年)



アツツ島玉砕(昭和19年)

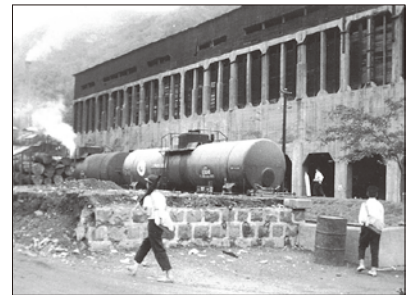
■写真にみる中之条町の昭和 中之条町の「町誌」「広報誌」「写真集」などの所蔵資料から



中之条町に着陸した飛行機(昭和2年)



市城の渡船場(昭和30年頃)



太子駅鉄鉱石輸送(昭和33年)

■メディアが語る昭和の世相 ラジオ・テレビ番組、雑誌記事などから



真空管ラジオ(昭和7年)



『暮しの手帖』(昭和23年)月刊『平凡』(昭和31年)



展示構成

1. 築百年以上の建築物と当時の街並み
 2. 災害と戦争と復興の記録
 3. 湯治場に文化人が残した作品
 4. 芸能・文化・スポーツで躍動
 5. 昭和から平成へ、そして令和
- ※期間中に展示替えを行う場合があります。

イベント情報

ギャラリートーク

講師 山口通喜
(館長/学芸員)

日時 4月26日(土)
13:15~14:00

場所 「ミュゼ」
企画展示室

予約不要

今後の展示予定

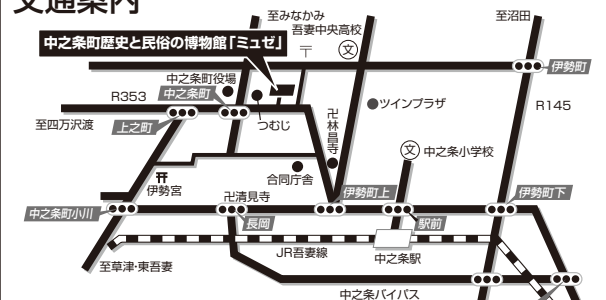
7月4日(金)~8月27日(水)
「高野長英を知っていますか」

9月13日(土)~10月13日(月/祝)
中之条ビエンナーレ2025(作品展示)

10月31日(金)~12月17日(水)
「幕末の蘭学と薬学」

そのほか、ロビー展示(ミニ企画展)なども開催されます。詳しくは当館公式ホームページでご確認ください。

交通案内



【電車をご利用の場合】
・JR吾妻線中之条駅から徒歩約15分
・中之条駅から閑越交通バス(四方温泉行または沢渡温泉行)約5分、「博物館前」下車

【車をご利用の場合】
・閑越自動車道 渋川伊香保ICから約40分(駐車場 約20台)